

金属ダクト 選定ガイド

ネグロス電工

SP-21



2020年3月版



金属ダクト選定シート掲載

施工写真掲載

● 金属ダクト

アルミニウム合金製

● ケーブルダクト

● 鋼製トラフ



NEGURUSU

ネグロス電工株式会社

目 次

金属ダクト選定ガイド

はじめに	1
関連仕様書 抜粋	2
1. 仕様	4
2. 主要構成一覧	4
3. 接続方式 (外継ぎ金具・カップリング・外フランジ・内フランジ)	5
4. カバー (平形カバー・縁曲げ平形カバー・縁曲げ屋根形カバー)	6
5. カバー止め方式 (挟み込み形 (CVCD1)・ビス止め形)	6
6. ケーブル支持桁 (取付方式・支持桁の種類)	7
7. セパレーター (固定式・移動式)	9
8. アース端子 (ボルト式・金具式)	9
9. ダクト支持 (支持間隔・支持例)	10

施 工 写 真 集

1. 金属ダクト	11
・総合図	11
・標準タイプ	12
・特注製作品	15
2. アルミニウム合金製ケーブルダクト	18
・総合図	18
・標準タイプ	19
・特注製作品	20
3. 屋上電線路用鋼製トラフ	22
・総合図	22
・標準タイプ	23

金属ダクト選定シート	24
------------	----

アルミダクトチェックリスト	28
---------------	----

はじめに-----

ネグロス電工では標準仕様の金属ダクト**DPS**タイプ、アルミ製ダクト**ADS**タイプの他、物件の仕様に沿ったダクトについて、設計・製作を請け賜っております。

国土交通省を始め、各公共工事物件にも数多くの実績がございます。

この小冊子は、ダクト選定の参考としていただくために、製作ダクトの概要をまとめたものです。ダクト敷設工事に先立ち、ご利用いただければ幸いです。

尚、お見積・ご相談は弊社最寄りの営業所にご下命くださいます様、よろしくお願い申し上げます。

また、標準仕様の金属ダクトの詳細、価格などにつきましてはカタログにより詳しく掲載しています。ご活用ください。

<https://products.negurosu.co.jp/catalog/index.html>



公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)平成31年版 電力46 金属ダクト 「記号、形式及び表示例」より抜粋

(1) 形式、ふたの止め方等の記号

記号	形 式	記号	ふたの止め方	寸 法
A	A 形	S	ねじ止め式	a×b
		H	ちょう番式	

(2) 材質・材厚及び仕上の記号

記号	材質・材厚及び仕上
—	SPC 1.6
Z35	SPC 1.6にJIS H 8641「溶融亜鉛めっき」に規定するHDZ35以上の溶融亜鉛めっきを施したもの又は同等以上の耐食性を有するもの
備考	セパレータも含む。

(3) 形 式

〔単位 mm〕

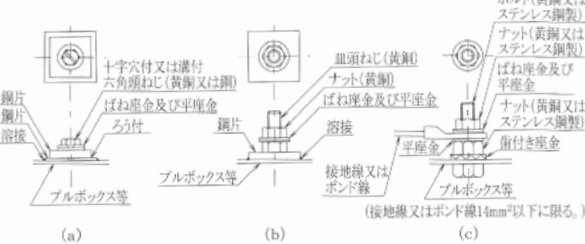


(4) 表示例

例	記 号	説 明
例1	AS400×200	A形ねじ止め式で寸法が400mm×200mmのもの
例2	AH400×200	A型ちょう番式で寸法が400mm×200mmのもの
例3	AH400×200-Z35	A形ちょう番式で寸法が400mm×200mmのもので、溶融亜鉛めっきを施したもの

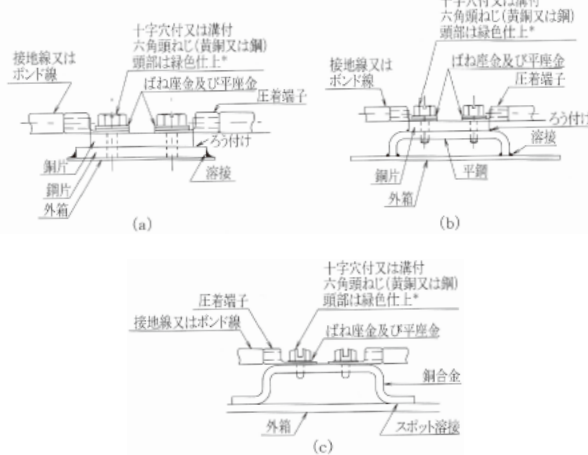
公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)平成31年版 電力57 接地3 「接地端子座」より抜粋

(1) 電力用のプルボックス、金属ダクト、金属トラフ、ケーブルラック



- 備考 (1) 接地線の太さと適合ねじの呼びは「接地端子箱1」による。
(2) アルミ製ケーブルラックのボルト、ナット、座金等は、ステンレス鋼製M8以上とする。
(3) ねじ締付け作業が容易に行えるように、接地端子座は傾斜取付けとしてもよい。
- 注 * ねじの頭部を緑色としない場合は、近傍にアースマークを貼付する。

(2) 分電盤、制御盤、開閉器箱のキャビネット



電気設備工事監理指針 令和元年版より抜粋

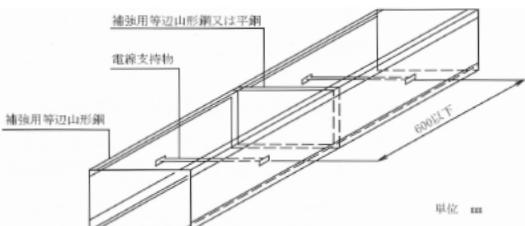
1.2.7 金属ダクト

金属ダクトは、全体が銅板で覆われた構造で、所要の電線を容易に収容でき、かつ、内部が点検できるものでなければならない。

(7) 構造等については「標仕」1.2.7に、形式等については「標準図」(電力46)に示されており、変形のものでも構造は、それぞれ記載されている事項を満足しなければならない。

(f) 箱体は、1.2.6(f)によるほか、次による。

本体断面の長辺の長さが450mmを超える場合は、等辺山形鋼、平鋼等により補強する。補強材取付け例を、図1.2.6に示す。



注1. 補強材取付け間隔は、製造者の標準とする。
2. 図は上側のふたをはずした状態を示している。

図1.2.6 金属ダクトの補強材取付け例

- (g) ふたの製作に当たっては、次の事項に留意する。
- (a) ふたは、そり等の変形をしない構造とし、必要に応じ補強材等を設けるようにする。この場合は、補強材の凸面は内面になるようにする。
- (b) ふたの幅が800mmを超えるものは、2分割するが、長さは作業性を配慮したものとする。
- (c) ちょう番式とした場合のちょう番は、十分な強度を有するものとし、ふたの取外しが可能なようにする。
- (d) ふたの止めねじは、1.2.6(f)による。
- (e) 収容する電線が大量の場合は、必要に応じ電線支持物を2段にする。また、セパレータを設ける場合は、それぞれの電線本数により位置を選定する。セパレータ取付け例を図1.2.7に示す。

公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)平成31年版より抜粋

1.2.7

金属ダクト

- (1) 形式等は、標準図第2編「電力設備工事」(電力46)による。
- (2) 金属ダクト(溶融亜鉛めっきを施すものを除く。)は、さび止め塗装を施す。
なお、鋼板の前処理は、次のいずれかによる。
① 鋼板は、加工後に、脱脂及びりん酸塩処理又はジルコニウム塩処理を施す。
② 表面処理鋼板を用いる場合は、脱脂を施す。
- (3) 幅が800mmを超えるふたは、2分割し、ふたを取付ける開口部は、等辺山形鋼等で補強する。
- (4) 金属ダクトの屈曲部は、電線被覆を損傷するおそれのないよう、隅切り等を施す。
- (5) 本体相互の接続は、カップリング方式とする。
- (6) ブルボックス、分電盤等との接続は、外フランジ方式とする。
- (7) 終端部は、閉そくする。ただし、分電盤等と接続する場合は、この限りでない。
- (8) 電線支持物は、次による。
① 電線支持物は、金属管、平鋼等とする。
② 電線支持物の間隔は、水平に用いるダクトでは600mm以下、垂直に用いるダクトでは750mm以下とし、その段数は表1.2.5による。

表1.2.5 金属ダクトの電線支持物の取付け段数

ふたの位置	深 さ	200 mm 以下	200 mm 超過
	面	な し	1 段
上	面	な し	1 段
下面又は立上り正面		1 段	2 段

- (9) 終端部及びブルボックス、分電盤等との接続部には、標準図第2編「電力設備工事」(電力57)の接地端子座による接地端子を設ける。

※標準図(電力46、57)については2ページを参照してください。

日本下水道事業団 電気設備工事一般仕様書・同標準図 平成31年版より抜粋

11.2.3 金属ダクト

1 構造は、下記による。

- (1) 金属ダクト(セパレータを含む。)は、原則として板厚2.0[mm]以上のアルミ板を使用する。
- (2) 本体断面の長辺が400[mm]を超えるものは、補強材を設ける。
- (3) 本体内部には、ケーブルを損傷するような突起物を設けない。
- (4) 金属ダクトには、工具なしで開閉できる点検口を必要に応じて設ける。
- (5) ダクトの屈曲部の大きさは、収容ケーブルの屈曲半径が外径の10倍以上となるよう選定する。
- (6) ダクト内部に電線を支持する金具を取付ける。
- (7) アルマイト加工及びクリア塗装を施す。
- (8) ボルト、ナット類は、ステンレス製とする。
- (9) 接地端子を設ける。
- (10) 床・壁貫通部、配電盤との接合部は、外フランジ方式とする。
- (11) 金属ダクトの屈曲部は、電線被覆を損傷するおそれのないよう隅切り等を行う。

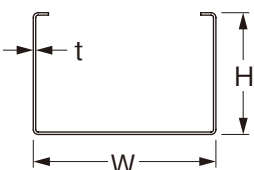
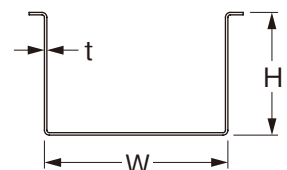
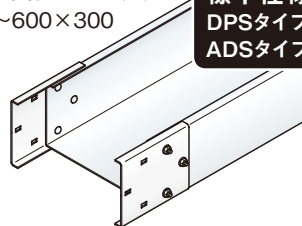
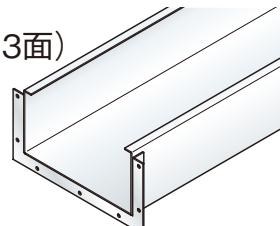
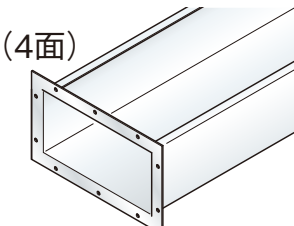
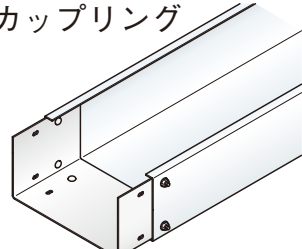
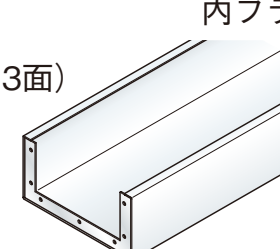
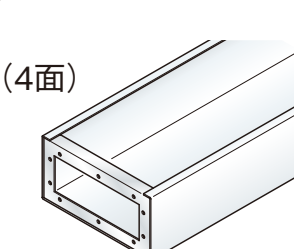
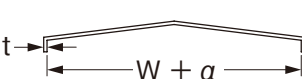
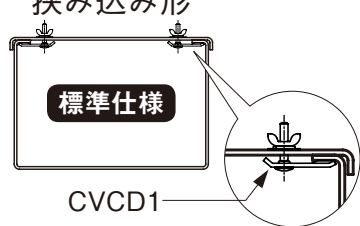
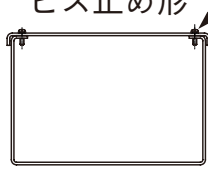
2 金属ダクトの製作にあたっては、製作承諾図を提出し監督職員の承諾を受けた後製作する。

1. 仕 様

- 高耐食性めっき鋼板 : SD-〇〇〇 溶融Zn-Al-Mg-Si合金めっき鋼板
スーパーダイマ® (板厚1.6~2.3mm)
- 溶融亜鉛めっき仕上げ : Z-〇〇〇 熱間圧延軟鋼板—JIS G 3131 SPHC (板厚1.6~3.2mm)
- 塗装 : P-〇〇〇 溶融亜鉛めっき鋼板—JIS G 3302 SGHC (板厚1.6~3.2mm)
- ステンレス鋼板 : S-〇〇〇 冷間圧延ステンレス鋼板—JIS G 4305 SUS304 (板厚1.5~3.0mm)
- アルミニウム合金 : アルミニウム合金の板材—JIS H 4000 A5052P (板厚1.5~3.0mm)

※スーパーダイマは日本製鉄株式会社の国内登録商標です。

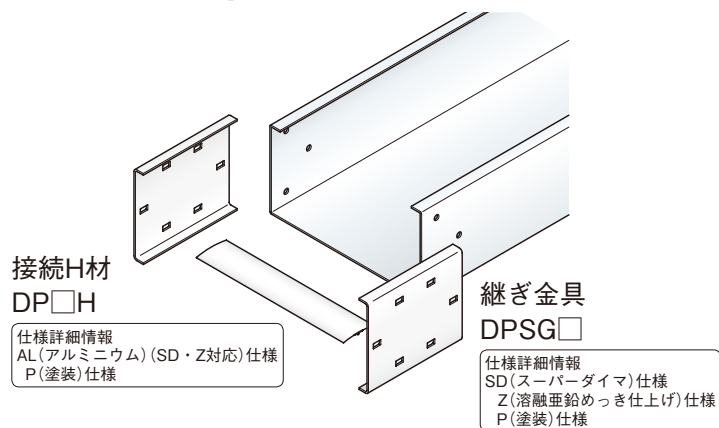
2. 主 要 構 成 一 覧

本 体 基本形状	一般形 標準仕様  外曲げ形 
接続方式	外継ぎ金具 ~600×300 標準仕様 DPSタイプ ADSタイプ  外フランジ (3面)  (4面) 
	カップリング  内フランジ (3面)  (4面) 
カバー	平 形  縁曲げ平形 標準仕様  縁曲げ屋根形 
カバー止め 方 式	挟み込み形 標準仕様  ビス止め形  使用ビスの種類 六角頭 なべ頭 トラス 丸皿 平座金付 山形座金付 ※本体外曲げ形、カバー屋根形には適用しません。

注意 ●施工・点検等の際には保護具を着用し、角部・端部(エッジ部)に注意してください。怪我の恐れがあります。

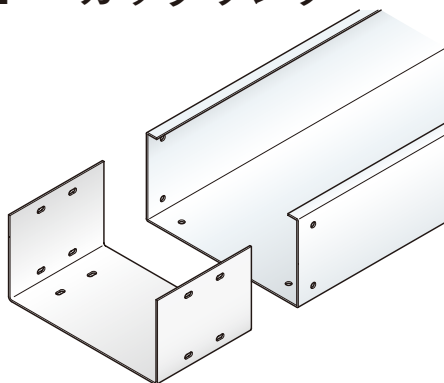
3. 接続方式

3-1 外継ぎ金具 標準仕様



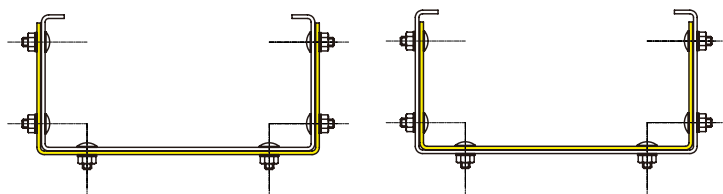
※同一高さのダクトに共通して使用できます。

3-2 カップリング



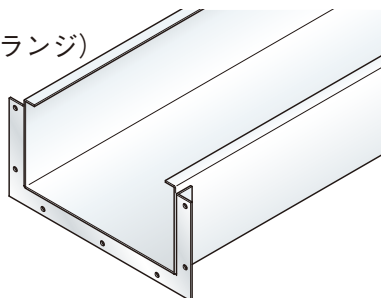
(外カップリング)

(内カップリング)



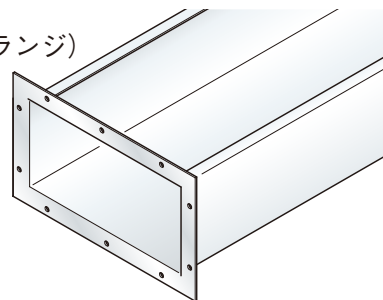
3-3 外フランジ

(3面フランジ)



※横引き施工の通線作業性に優れています。

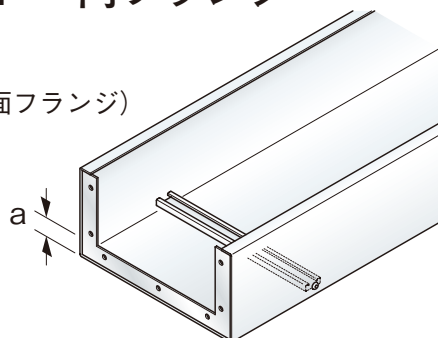
(4面フランジ)



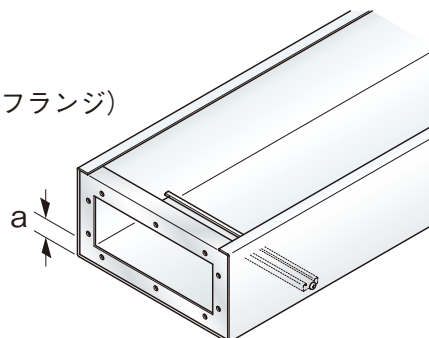
※ 比較的に支持間隔の大きい場合や大形ダクト、垂直敷設ダクトなどに用います。

3-4 内フランジ

(3面フランジ)



(4面フランジ)

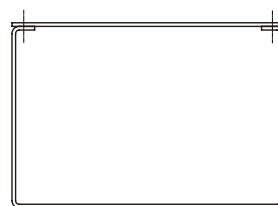
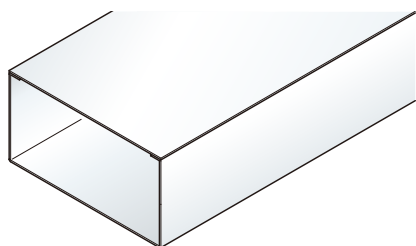


※外フランジに比べて外観に優れています。又、ダクト支持材に干渉することはありません。

※ジョイント部分でのケーブル保護のため、フランジ幅 (a) 以上の位置にケーブル支持桁を設けます。

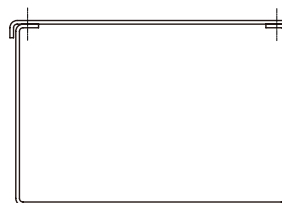
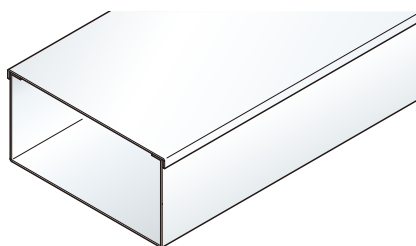
4. カバー

4-1 平形カバー



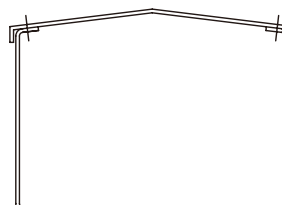
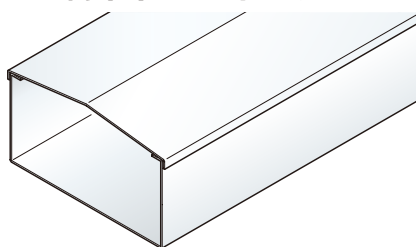
※主にアルミダクトに用いられます。

4-2 縁曲げ平形カバー **標準仕様**



※一般的な形状です。

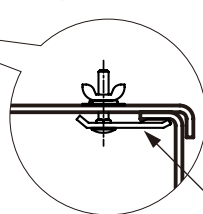
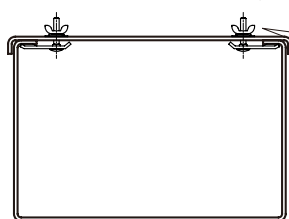
4-3 縁曲げ屋根形カバー



※ 屋外(屋上)などでの水切りタイプとして、用いられます。

5. カバー止め方式

5-1 挟み込み形 (CVCD1) **標準仕様**



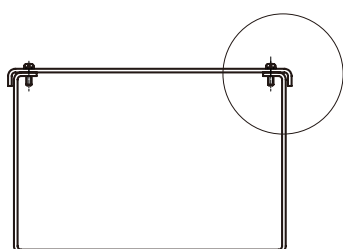
※ 本体への止め穴加工は不要です。カバーは任意の位置に取り付けできます。

CVCD1

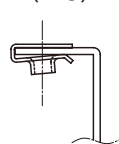
※ 横引き専用です。

5-2 ビス止め形

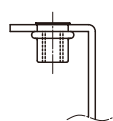
本体側の仕様



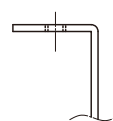
クリップナット
(M6)



カシメナット

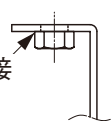


タップ加工

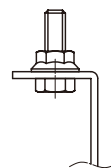


ナット溶接

溶接



セットボルト



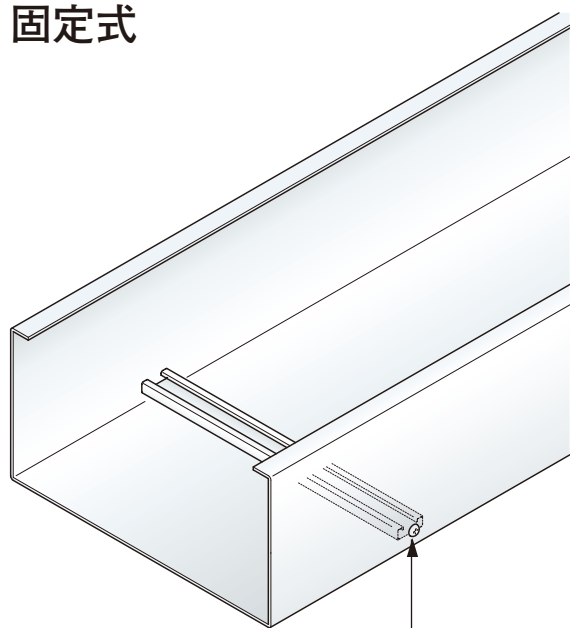
溶融亜鉛めっき仕上げ品は原則として不可とします。

主に屋根形カバーに用います。

6. ケーブル支持桁

■ 6-1 取付方式

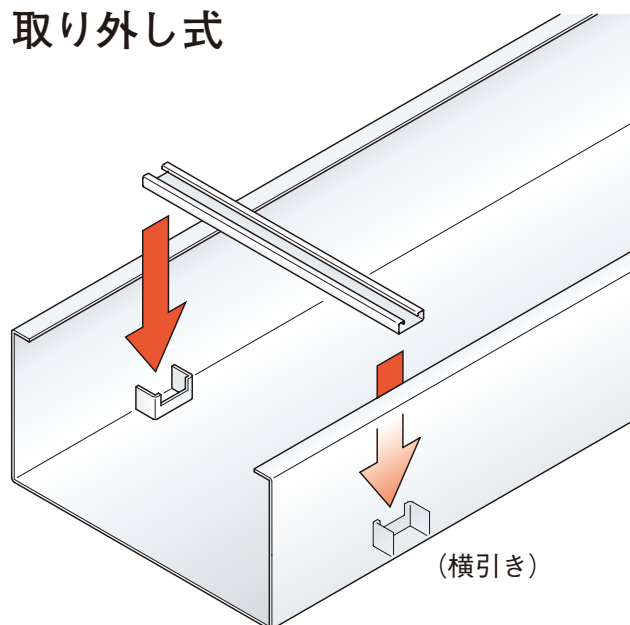
● 固定式



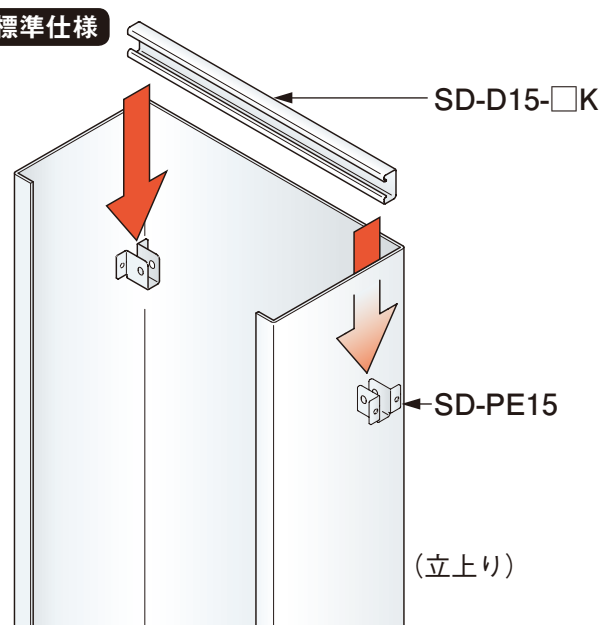
ビス止め又は溶接、リベット

※高耐食性めっき鋼板仕様はビス止めになります。

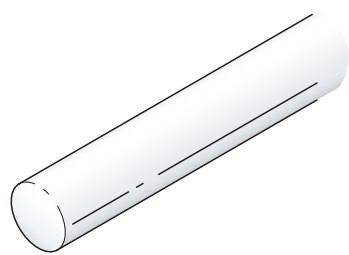
● 取り外し式



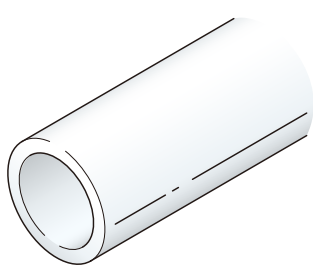
標準仕様



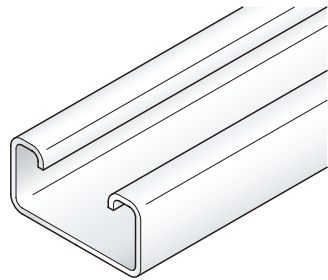
■ 6-2 支持桁の種類



●丸 鋼
(φ9～16)



●金属管
(φ21～33)

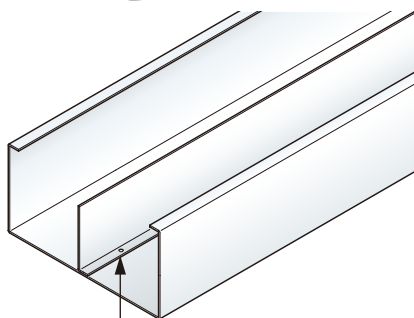


●チャンネル
(D15N、D20N、D30N)

丸 鋼		金属ダクトの断面積が小さい場合に使用する。
平 鋼		立上りダクト又は断面積が小さい場合に使用する。 電線を傷つけないよう加工する。
金 属 管		断面積が中程度以上のものに使用する。
軽 量 形 鋼		断面積が大きいダクト又は立上りダクト等の電線 ケーブルの太物を支持する場合に使用する。

7. セパレーター

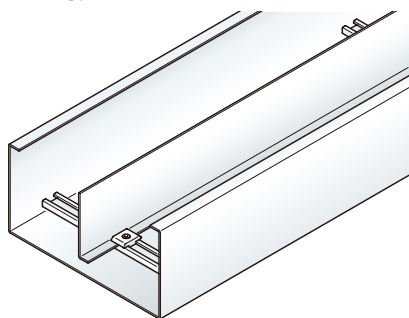
7-1 固定式



固定方法の種類

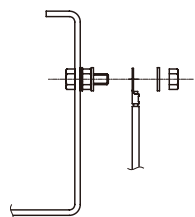
- ・リベット止め
- ・ビス止め
- ・溶接

7-2 移動式



8. アース端子

8-1 ボルト式

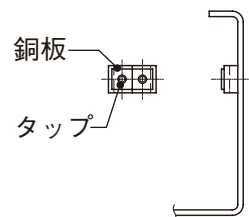


※溶融亜鉛めっき仕上げ品ではボルト式が適しています。

※本体穴加工し、ステンレスボルトを端子座として使用します。

適用品：EBKS55-50-M□-----5.5mm²
：EBEKS55-50-M□---5.5mm²（エコ電線）
：EBKS14-50-----14mm²
：EBEKS14-50-----14mm²（エコ電線）

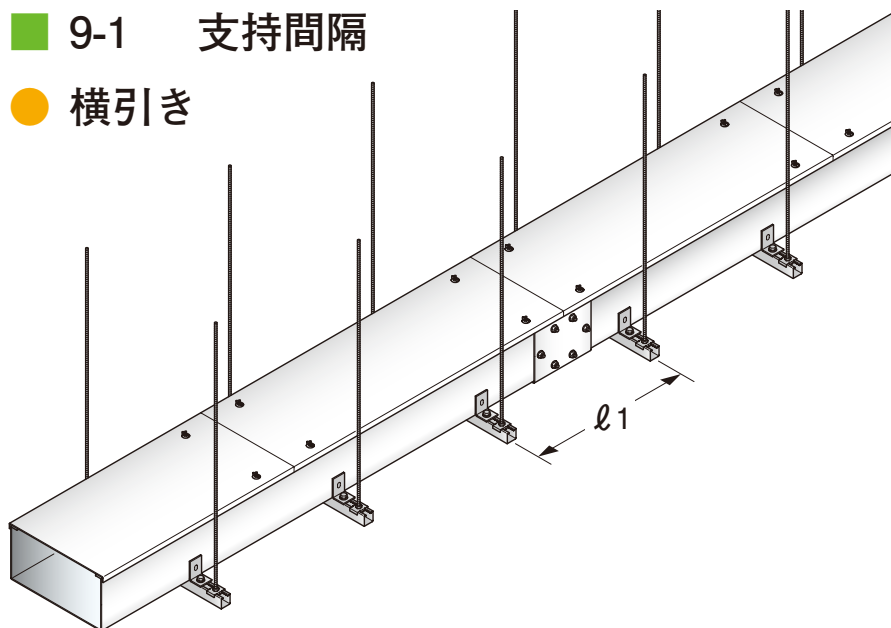
8-2 金具式



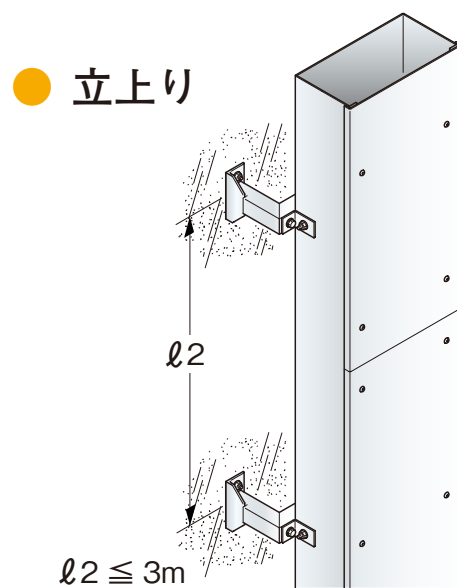
9. ダクト支持

9-1 支持間隔

● 横引き



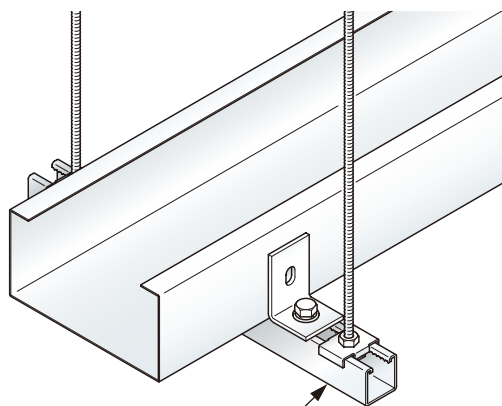
● 立上り



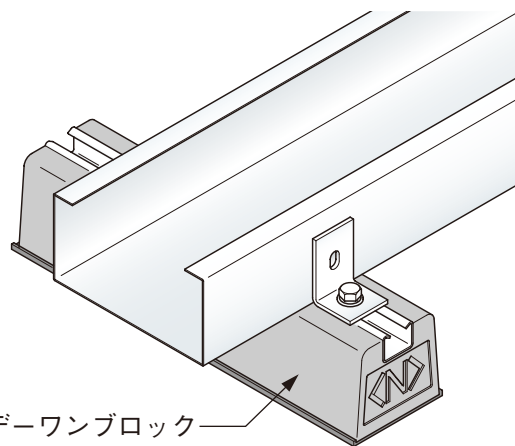
※ただし、配線室等において、垂直に敷設する場合は、6m以下の範囲で各階支持とすることができる。

9-2 支持例

● 横引き (自重支持)

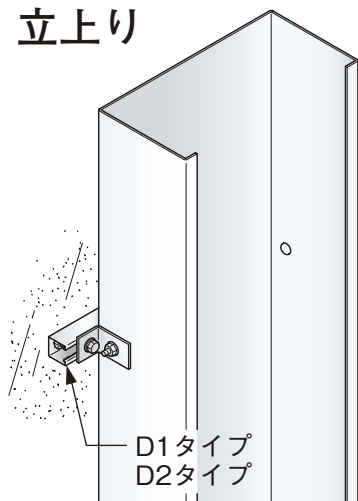


ダクターチャンネルD2、
チャンネルD41、形鋼など

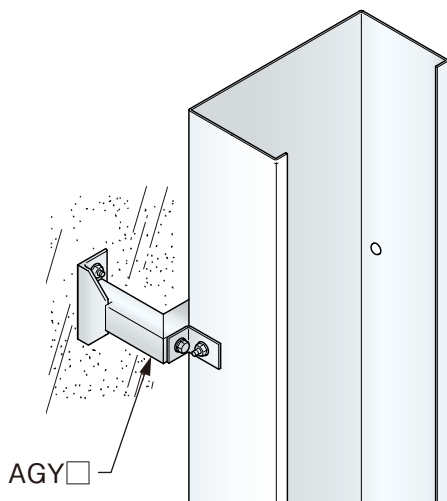


デワンプロック

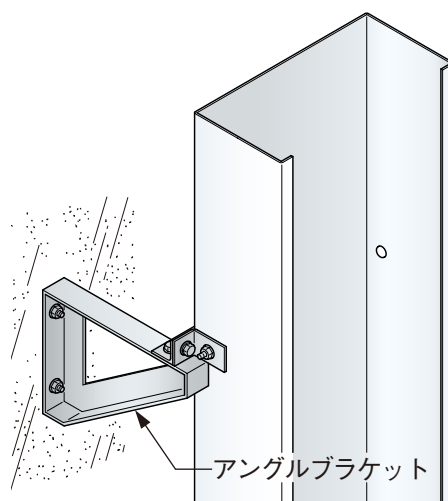
● 立上り



D1タイプ
D2タイプ



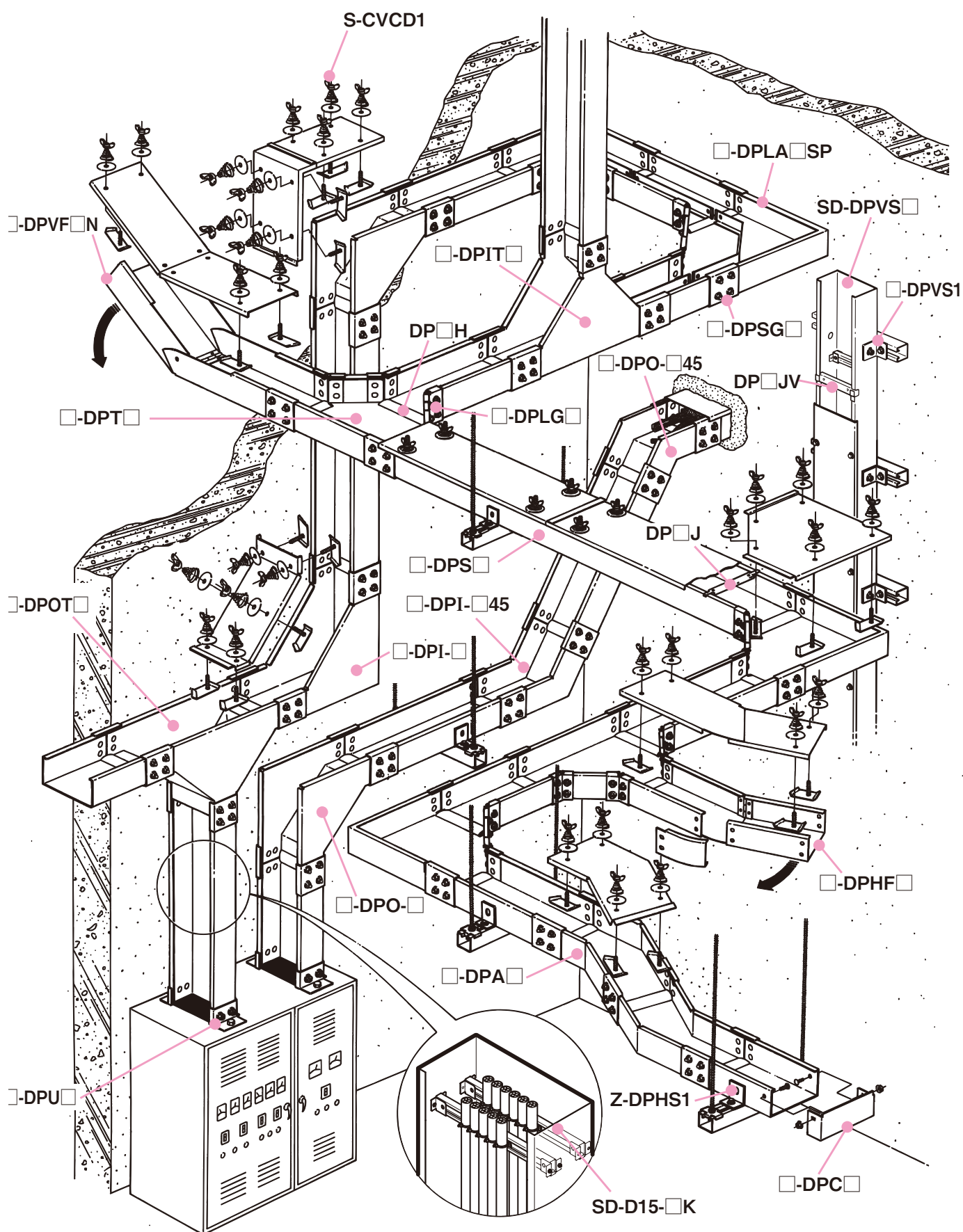
AGY□



アングルブラケット

1. 金属ダクト

総合図



1. 金属ダクト

1-1. 標準タイプ（高耐食性めっき鋼板製）

直線ダクト DPS□



水平自在継ぎダクト DPHF□



垂直自在継ぎダクト DPVF□N



・既設の配管をよけて施工



カバー止め金具 S-CVCD1
直線用外継ぎ金具 DPSG□



伸縮自在継手カバー



セパレーター付直線ダクト
DPS□SP



1. 金属ダクト

立上りダクト DPVS□-P□-□



(無断転写を禁ず)

1-2. 特注製作品

溶融亜鉛めっき仕上げダクト



横引き水平ベンドダクト



・階段に沿って施工



1. 金属ダクト

立上りダクト DPVS□-P□-□



溶融亜鉛めっき仕上げダクト

・ハンドホールからの取り出し施工



・取っ手付きカバー



- ・地下ピットからの取り出し(カバーは縞鋼板製)



- ・横引き(自重・耐震支持)



- ・アルミ製ケーブルラックからダクトでキュービクルに接続



- ・横引きダクト段差部の方向転換

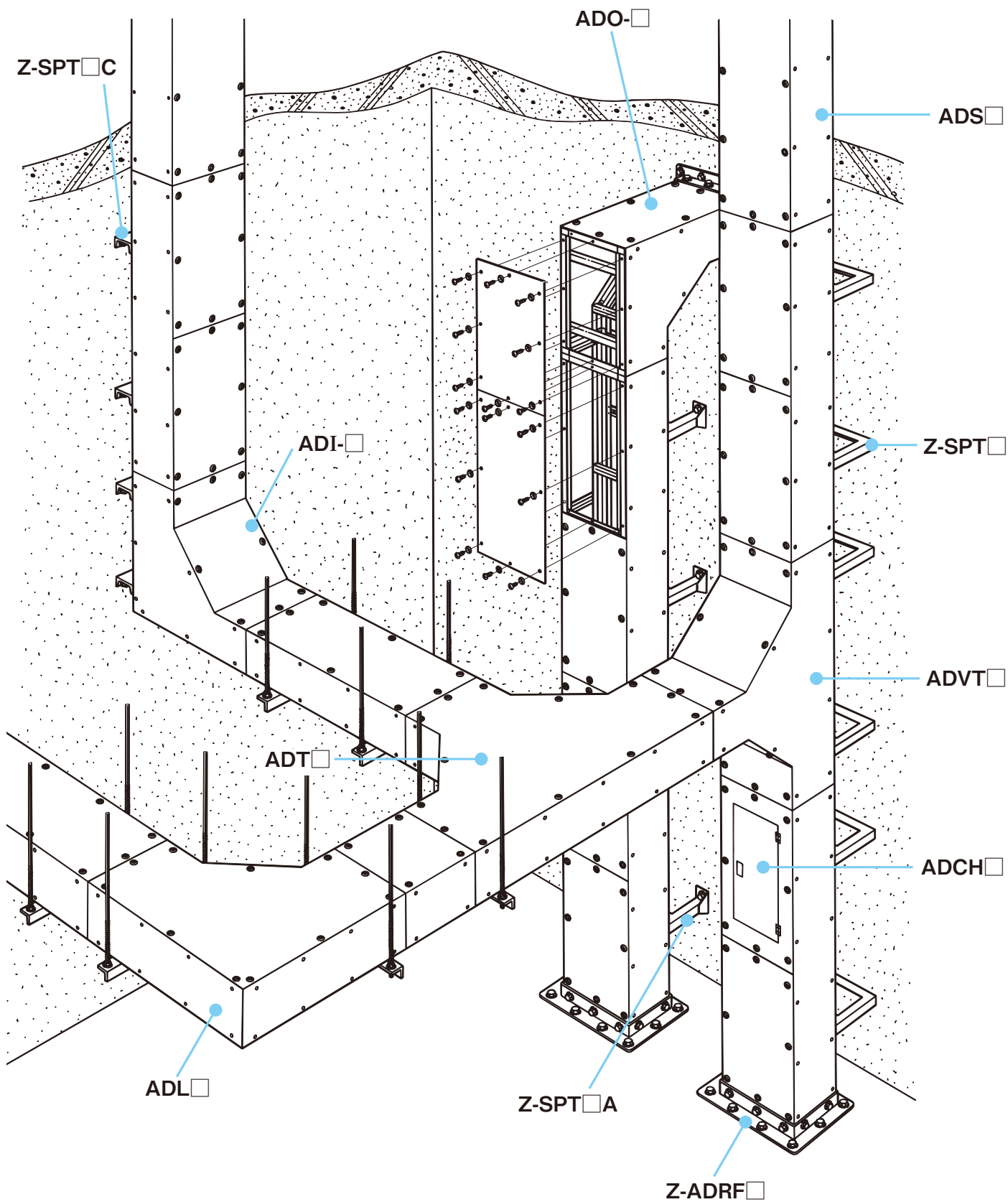


- ・壁貫通部への施工



2. アルミニウム合金製ケーブルダクト

総合図



2-1. 標準タイプ

補強フレーム式直線ダクト
ADS□

直線ダクト用セパレーター
ADSDF□P



点検口付直線カバー
ADCH□



2. アルミニウム合金製ケーブルダクト

2-2. 特注製作品

- ・可とう電線管によるケーブル引出し
支持材：ダクターチャンネル (D2)
アングルブラケット



- ・ケーブルラック取入口にアングル支持材を使用

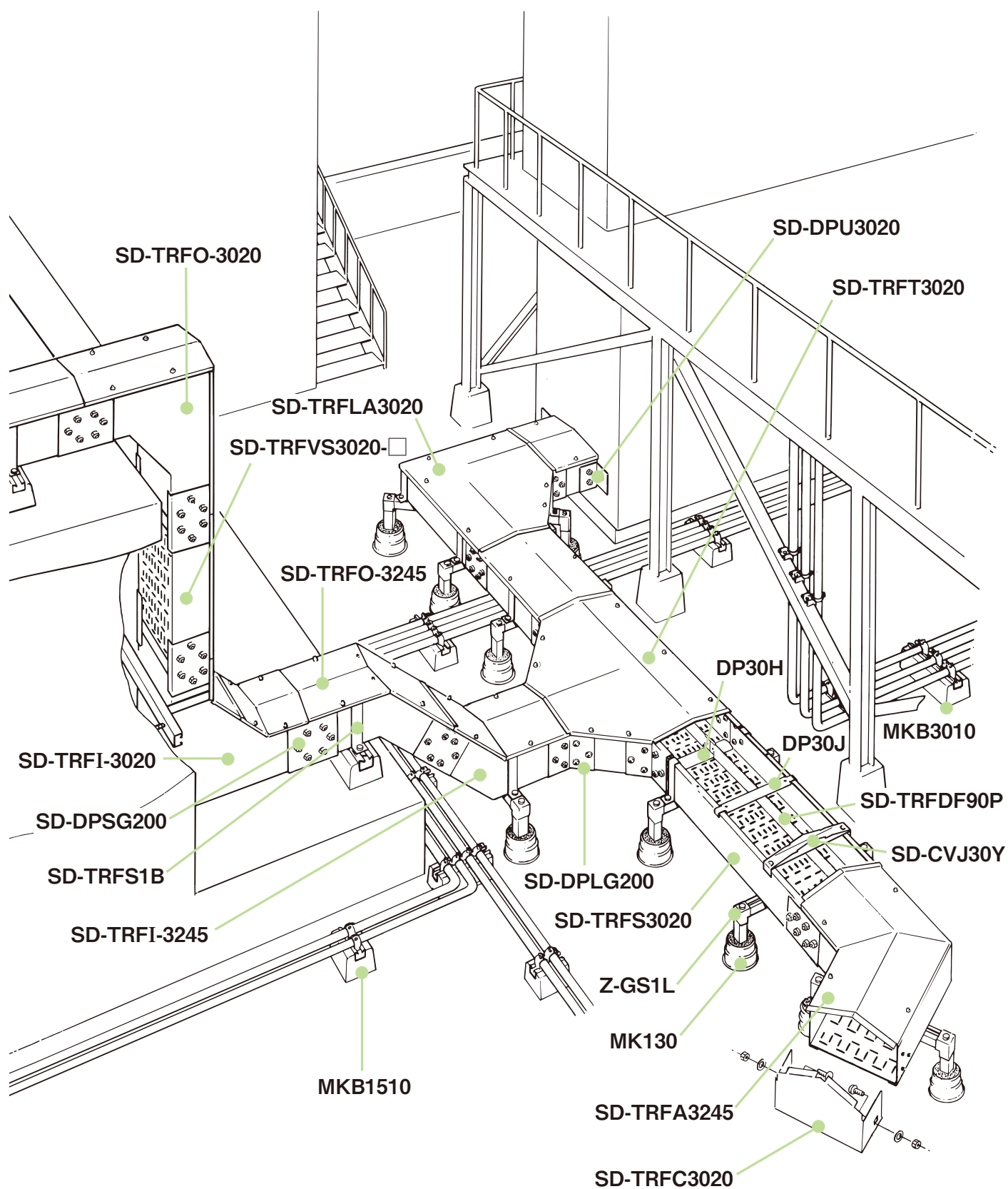


- ・横引き配線はアルミ製ケーブルラック、立上り配線はケーブルダクトによる施工



3. 屋上電線路用鋼製トラフ

総合図



標準タイプ

直線トラフ TRFS□



・トラフに立上りダクト接続



アウトサイドベンドトラフ TRFO-□



止水プレート
Z-SWPTRF□



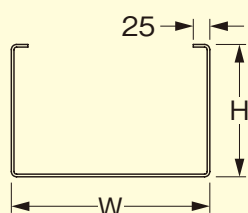
金属ダクト選定シートをご記入の上、最寄りの営業所にお見積申し付けください。

貴社名：	TEL：() —
ご担当者名：	FAX：() —
件名：	納入予定時期：

1. ダクト寸法

ダクトのサイズ(W、H)と全長(L)をご指定ください。

W mm × H mm × L mm



※全長(L)については、下記を参考に設定してください。
ダクト断面周長(W+2H+50)が、
1200mm以下……………L=2400mmまで
1200mmを超える………L=1200mmまで

2. 仕様設定

① 材質・表面処理(4ページ参照)以下から選定して板厚をご指定ください。

- | | | |
|---------------------------------------|--|----------------------------------|
| ☐ 高耐食性めっき鋼板 | ☐ 溶融亜鉛めっき仕上げ | ☐ ステンレス鋼板 |
| ☐ 標準色塗装(5Y7/1) | ☐ 指定色塗装(色票番号：) | |

板厚= mm ※アルミニウム合金製(アルミダクト)は29ページ参照

② 本体基本形状(4ページ参照)
ダクト本体の基本形状をご指定ください。

- | | | |
|--------------------------------------|--|-----------------------------------|
| ☐ 一般形
標準仕様 | | ☐ 外曲げ形
 |
|--------------------------------------|--|-----------------------------------|

③ 接続方式(5ページ参照)ダクトの接続方式をご指定ください。

接続フランジサイズ：L — × ×

- | | | |
|--|----------------------------------|----------------------------------|
| ☐ 外継ぎ金具
標準仕様 | ☐ 外カップリング | ☐ 内カップリング |
| | | |

- | | | | |
|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 外フランジ | | 内フランジ | |
| ☐ 3面フランジ | ☐ 4面フランジ | ☐ 3面フランジ | ☐ 4面フランジ |
| | | | |

④ カバー (6ページ参照)

ダクトに取り付けるカバーの形状をご指定ください。

☐ 平形カバー

☐ 縁曲げ平形カバー

☐ 縁曲げ屋根形カバー

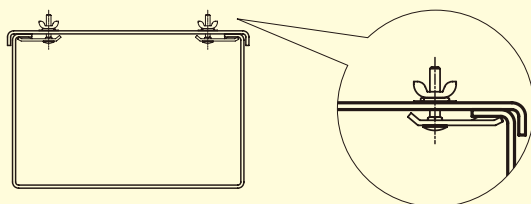
標準仕様

⑤ カバー止め方式 (4、6ページ参照)

カバー止め方式をご指定ください。

☐ 挟み込み形

標準仕様



☐ 段だし

☐ 点検

☐ ゴムパッキン
(簡易防水)

☐ たわみ防止

☐ ビス止め形

使用ビスの種類:

サイズ:

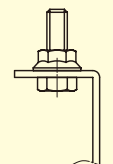
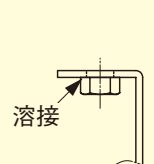
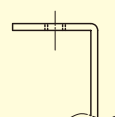
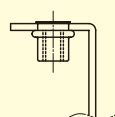
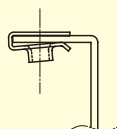
☐ クリップナット

☐ カシメナット

☐ タップ加工

☐ ナット溶接

☐ セットボルト



溶融亜鉛めっき仕上げ品は原則として不可とします。

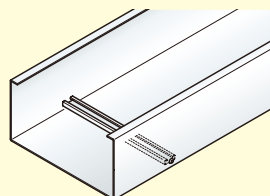
⑥ ケーブル支持桁 (7、8ページ参照)

ケーブル支持桁についてご指定ください。

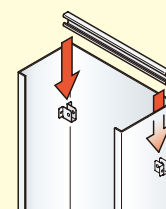
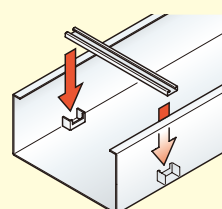
☐ 不要

☐ 必要

☐ 固定式



☐ 取り外し式

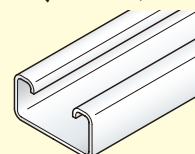
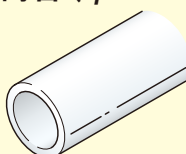
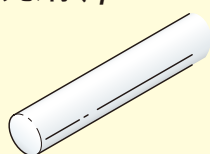


● 支持桁の種類

☐ 丸鋼 (φ9~16)

☐ 金属管 (φ21~33)

☐ チャンネル (D15N、D20N、D30N)



支持桁の段数: 段、支持桁のピッチ: mm

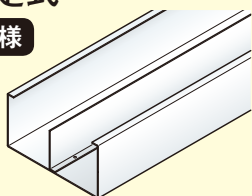
- ⑦ セパレーター(9ページ参照)
セパレーターについてご指定ください。

☐ 不要

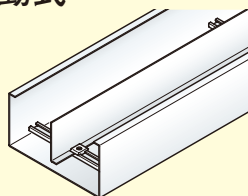
☐ 必要

☐ 固定式

標準仕様

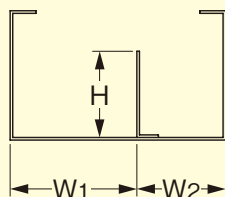


☐ 移動式

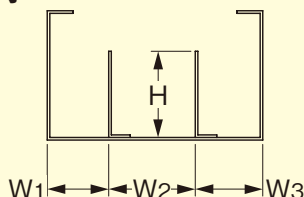


※固定式では原則として支持桁を配置しません。固定式で支持桁を必要とする場合は支持桁部でセパレーターを縁切りします。尚、移動式は支持桁が必要です。

☐ 1列



☐ 2列



セパレーター高さ H = mm

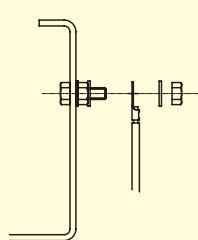
セパレーター間隔 W₁ = mm、W₂ = mm、W₃ = mm

- ⑧ アース端子(9ページ参照)
アース端子についてご指定ください。

☐ 不要

☐ 必要

☐ ボルト式



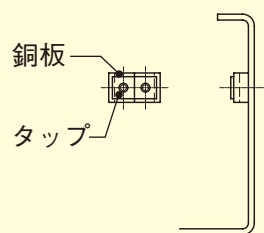
ボルトサイズ

☐ M6

☐ M8

☐ その他:

☐ 金具式



※アルミダクトの場合、ボルトサイズをM8とします。

(備考欄)

・ダクト使用量: 約 m

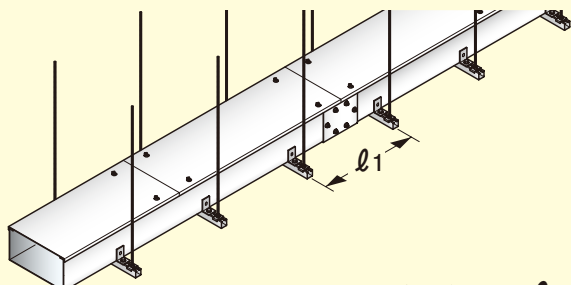
・分岐ダクト本数: 約 本

・その他

- ⑨ ダクト支持(10ページ参照)
ダクトの支持方法についてご指定ください。

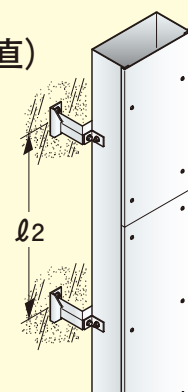
[支持間隔]

☐ 横引き (水平)



自重支持 $l_1 =$ m

☐ 立上り (垂直)

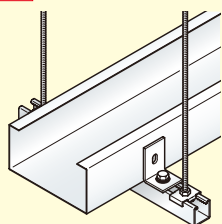


$l_2 =$ m

[支持材] 電設資材カタログ「ワールドダクター」「サポートシステム」を併せてご参照ください。

●横引き (自重支持)

☐ 吊りタイプ



吊りボルト

☐ W3/8又はM10

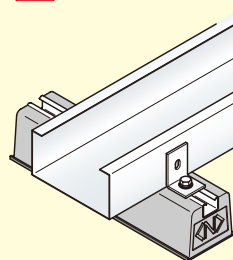
☐ W1/2又はM12

サポート材

☐ チャンネル：D

☐ 形鋼：

☐ 床置きタイプ



☐ デーワンプブロック：

MKB

☐ 単架台

☐ チャンネル：D

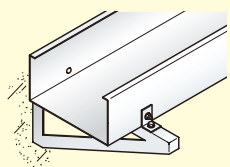
☐ 形鋼：

☐ 形鋼架台

形鋼：

高さ： mm

☐ 壁付けタイプ



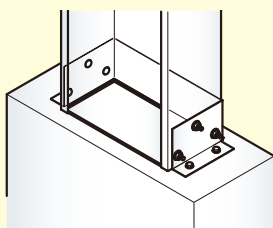
アングルブラケット

形鋼：

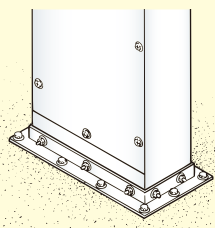
※その他に使用する部材がありましたら、26ページの備考欄にご記入ください。

●接続方法

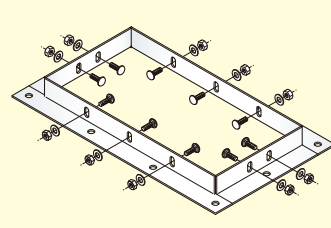
☐ 盤接続



☐ フランジ (丸穴)



☐ ルーズフランジ (長穴)



アルミダクト チェックリスト

下記の空欄に必要事項を明記し、該当する□に✓点マークしてください。

ダクトサイズ

	W	H	L	セパレーター		ケーブル支持桁		数量 (m・本)
				高さ(mm)	本数	ピッチ(mm)	段数	
1								
2								
3								
4								
5								

構造：□ <N>標準仕様(カタログ記載品)

<N>標準仕様の場合は、以降の項目への記入必要ありません。

□ 特注仕様

以降の項目へ記入してください。

<N>標準仕様			
幅W(mm)	高さH(mm)	補強フレーム有無	本体・カバー板厚
200≦W≦400	100≦H≦200	なし	2.0t
400≦W≦1000	200≦H≦400	あり	

仕 上：□ アルマイト処理 □ アルマイト処理＋クリア塗装 (日本下水道事業団仕様)

板 厚：□ 2.0mm □ その他 (打ち合わせが必要となります)

補強材：□ 無 □ 有 (サイズ指定：)

補強材サイズは原則、当方に一任とします。
指定ある場合に限り()内に明記してください。

開口部のラック受材：□ 無 □ 有 (アングルサイズ：)

本体への固定用穴 □ 無 □ 有

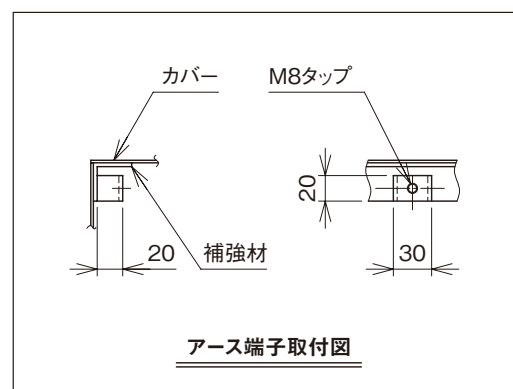
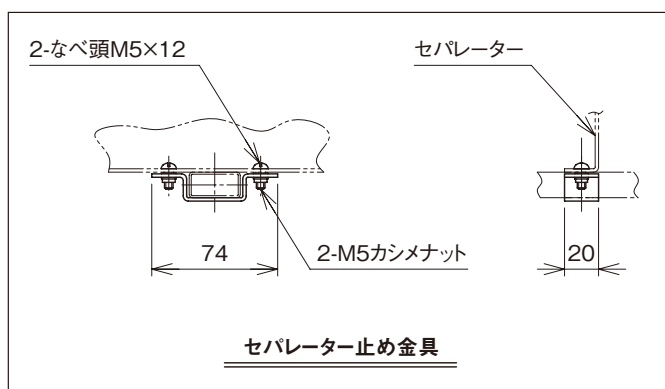
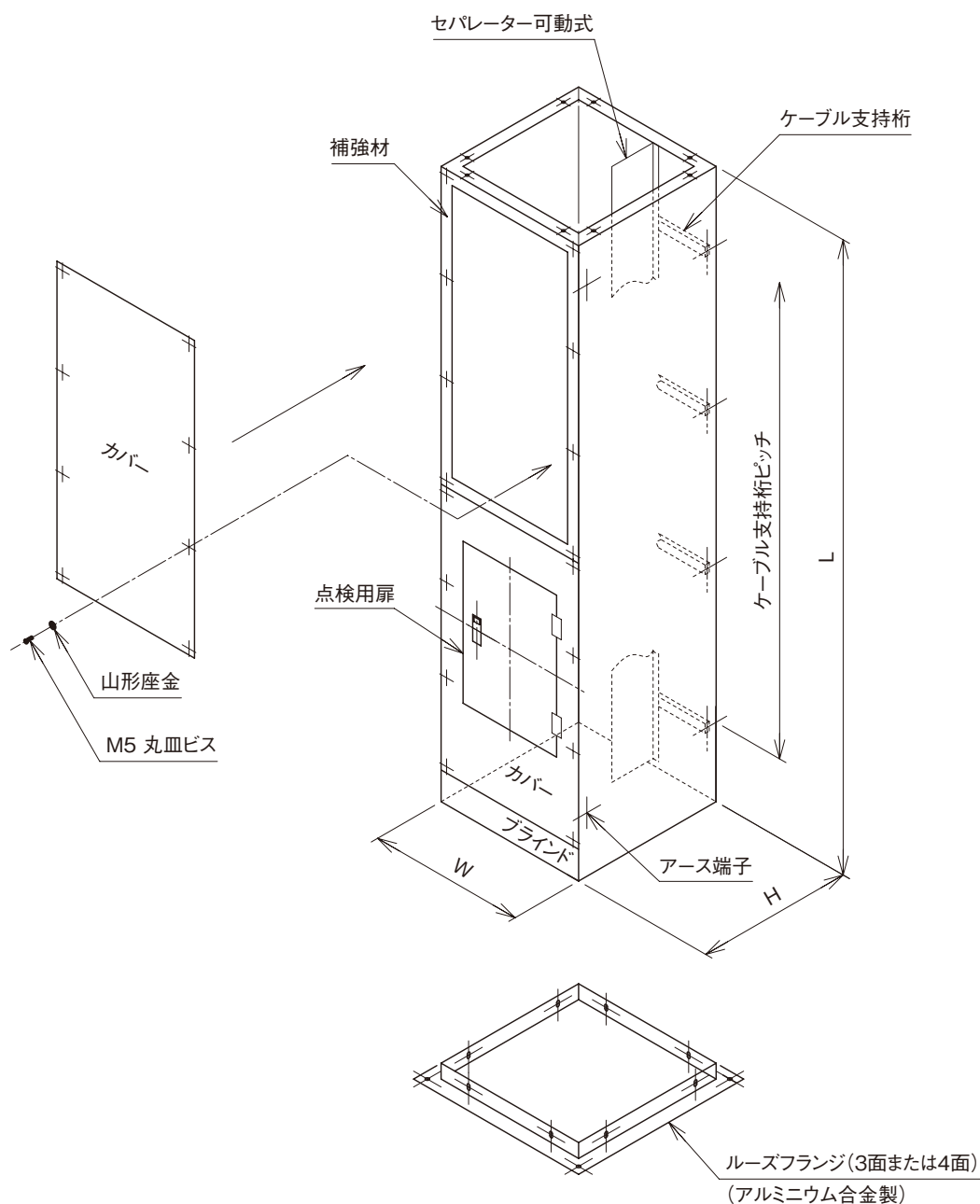
ラック固定用穴 □ 無 □ 有

カバー：□ 取手付 □ 点検用扉付

扉サイズ・・・ W mm × H mm

開閉方向・・・ (指示無き場合は右開き)

アルミダクト 概要図（参考）



ネグロス電工 全国営業所一覧

※商品、納期についてのお問い合わせは、最寄りの営業所へ

札幌営業所 〒003-0872 札幌市白石区米里2条4-7-30
TEL(011)874-7755 FAX(011)874-7761

盛岡営業所 〒020-0837 岩手県盛岡市津志田町1-6-50
TEL(019)635-8771 FAX(019)635-6667

仙台営業所 〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東3-3-16
TEL(022)781-6200 FAX(022)781-6300

郡山営業所 〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字宮田46-1
TEL(024)941-1355 FAX(024)941-3550

前橋営業所 〒379-2104 群馬県前橋市西大室町1257-5
TEL(027)230-3181 FAX(027)230-3182

栃木営業所 〒322-0016 栃木県鹿沼市流通センター 54番地
TEL(0289)76-1741 FAX(0289)76-2284

土浦営業所 〒300-0061 茨城県土浦市並木3-15-6
TEL(029)825-2120 FAX(029)825-2160

大宮営業所 〒331-0811 埼玉県さいたま市北区吉野町1-371-5
TEL(048)660-6890 FAX(048)660-6831

千葉営業所 〒275-0023 千葉県習志野市芝園2-6-4
TEL(047)454-6200 FAX(047)454-6388

東京中央営業所 〒135-0062 東京都江東区東雲2-5-17
TEL(03)3528-1700 FAX(03)3528-1830

足立営業所 〒121-0062 東京都足立区南花畑3-21-12
TEL(03)3858-6561 FAX(03)3858-6531

東京北営業所 〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-15-41
TEL(048)451-5552 FAX(048)451-5553

新宿事務所 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-27-3 やまとビル8F
TEL(03)5315-4512 FAX(03)5315-4525

八王子営業所 〒192-0032 東京都八王子市石川町2972-6
TEL(042)639-0577 FAX(042)639-0579

横浜営業所 〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦2-13-48
TEL(045)780-3200 FAX(045)780-3201

厚木営業所 〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津4035-2
TEL(046)284-5321 FAX(046)284-5324

静岡営業所 〒422-8027 静岡県駿河区豊田2-4-35
TEL(054)280-4610 FAX(054)280-6821

三河営業所 〒444-0246 愛知県岡崎市上三ツ木町字北稗田14-3
TEL(0564)43-5101 FAX(0564)43-5116

名古屋営業所 〒460-0017 愛知県名古屋市中区松原3-12-15
TEL(052)331-2381 FAX(052)322-5829

三重営業所 〒519-0142 三重県亀山市天神2-3638-1
TEL(0595)84-0021 FAX(0595)84-0022

名岐営業所 〒491-0105 愛知県一宮市浅井町大日比野字清郷125
TEL(0586)53-6511 FAX(0586)53-6513

新潟営業所 〒950-2033 新潟市西区亀貝3385番地
TEL(025)374-7830 FAX(025)374-7815

松本営業所 〒390-1104 長野県東筑摩郡朝日村古見3773-1
TEL(0263)99-3650 FAX(0263)99-3651

金沢営業所 〒920-0209 石川県金沢市^{ひがしかがづめ}東蚊爪ウラ21番地
TEL(076)238-6362 FAX(076)237-6988

京都営業所 〒601-8182 京都市南区上鳥羽北島田町115番地
TEL(075)693-9411 FAX(075)693-9611

大阪営業所 〒552-0012 大阪市港区市岡2-13-43
TEL(06)6573-7111 FAX(06)6575-3107

神戸営業所 〒651-2411 兵庫県神戸市西區上新地3-2-4
TEL(078)967-6470 FAX(078)967-6471

高松営業所 〒760-0065 香川県高松市朝日町6-2-30
TEL(087)823-4702 FAX(087)823-4712

松山出張所 〒791-8013 愛媛県松山市山越4-5-35河上ビル206号
TEL(089)996-6108 FAX(089)996-6109

岡山営業所 〒701-0151 岡山市北区平野765-14
TEL(086)292-9600 FAX(086)292-9603

広島営業所 〒731-3168 広島市安佐南区伴南2-4-10
TEL(082)849-6510 FAX(082)849-5104

松江出張所 〒690-0044 島根県松江市浜乃木6-33-36 203号
TEL(0852)55-4311 FAX(0852)55-4312

山口営業所 〒747-1221 山口市錦銭司字錦銭司団地南1184-14
TEL(083)986-2901 FAX(083)986-2903

福岡営業所 〒811-2232 福岡県糟屋郡志免町別府西1-2-12
TEL(092)935-1500 FAX(092)935-6700

長崎出張所 〒851-2102 長崎県西彼杵郡崎津町浜田郷761-8号アネックスN101号
TEL(095)814-2100 FAX(095)814-2101

熊本営業所 〒862-0967 熊本市南区流通団地1丁目43番地
TEL(096)379-8861 FAX(096)379-8115

大分出張所 〒870-0934 大分市東津留1-5-6 105号
TEL(097)555-9911 FAX(097)555-9912

鹿児島営業所 〒891-0131 鹿児島市谷山港3-1-26
TEL(099)263-0070 FAX(099)263-0071

沖縄営業所 〒901-2101 沖縄県浦添市西原1-1-15
TEL(098)870-7122 FAX(098)870-7123

本社 〒136-0071 東京都江東区亀戸2-40-1
TEL(03)5628-7111 FAX(03)5628-7131

営業本部 〒136-0071 東京都江東区亀戸2-40-1
TEL(03)5628-7123 FAX(03)5628-7134

●技術的なお問い合わせは 〈 技術部 〉 TEL(03)6426-0509 FAX(03)6426-0519

ホームページにてWEBカタログ公開中！
<https://www.negurosu.co.jp/>